

**『救急領域における心理支援の実際
ー患者・家族への介入と入院時重症患者対応メディエーター業務
の現状ー』
に関するご協力のお願い**

研究の目的と意義	救急医療の現場では、突然の病や外傷に加えて入院による環境変化が重なるため、患者・家族に動揺や混乱が生じることが多く、当院では開院以来心理師が心理的支援を担ってきた。また令和4年の診療報酬改定では、「重症患者初期支援充実加算」が新設され、「入院時重症患者対応メディエーター（以下、メディエーター）」の専任配置の制度化に伴い、当院でも心理師の新たな業務として加えられた。メディエーターは危機的状況におかれている患者・家族に寄り添いながら医療者との橋渡しをし、意思決定を支えることが求められており、多忙な救急医療の現場において、心理師が家族へ患者の価値観等を聞くことへの必要性が高まっていると考えられる。 今回の発表では、当院の救命病棟において心理師が患者・家族へ行った心理的支援の実践を振り返り、そこから救急領域で心理師に求められる専門性について検討することを目的とする。
研究の方法	・カルテより患者数や公認心理師の介入件数等の情報を拾い出し、分析を行う。
対象者	・2024年4月～2025年3月の間に救命病棟に入院した方
利用する試料/情報	(カルテ情報より) ・救命病棟の入院患者数 ・公認心理師が介入を行った件数 ・公認心理師が介入を行った主な対象者 ・患者の病態 ・公認心理師が行った支援内容
利用する試料/情報の取得方法	カルテ情報の拾い出し
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	2026年8月28～30日の第45回日本心理臨床学会で発表予定
試料・情報の利用又は提供開始日	院長による研究実施許可日
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、2026年8月25日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 こころのケアセンター 心理室/神谷 ひかり
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 こころのケアセンター 心理室/神谷 ひかり